

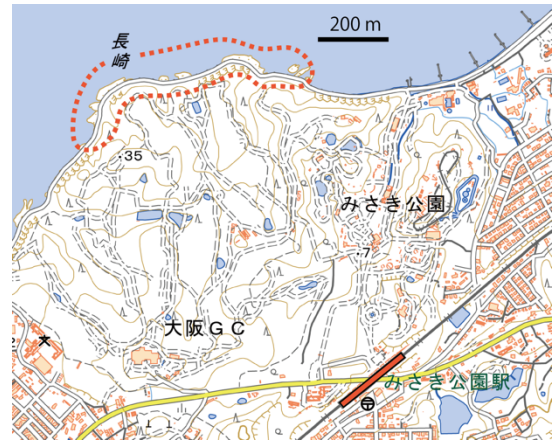
大阪湾の磯の生き物観察シート

No.1 大阪湾の磯観察スポット

埋め立てが進んでしまった大阪湾ですが、南の湾口付近には自然の岩礁海岸が残されています。公共交通機関で行きやすい磯観察スポットを紹介します。

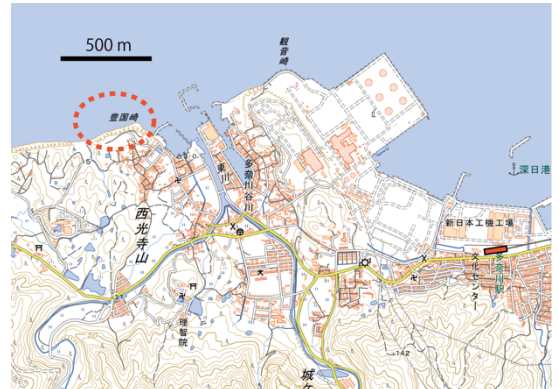
■長崎海岸（長松海岸）

大阪から最も行きやすい磯です。南海本線みさき公園駅改札口（西出口）から旧遊園地に向かう道を通り抜けて海岸に出て、海岸道路を西に歩くと磯が見えてきます（駅から徒歩 20 分）。トイレは現地に公衆トイレがあります。



■豊国崎

大阪府で唯一、人工護岸のない海岸です。南海多奈川線多奈川駅から府道 65 号線沿いに西へ歩き、東川・西川の合流点下流側の落合橋を西へ渡って河口に向かうと谷川漁港に出ます（駅から徒歩 25 分）。漁港の奥の防波堤を越えると豊国崎です。トイレは漁港内にあります。



■城ヶ崎

砂岩と泥岩の互層がみごとな広い磯です。南海加太線加太駅から県道沿いに加太中学校の前を通り、消防署前の分かれ道を「城ヶ崎」の標識の方（右手）へ歩くと海が見えるので、そのまま北上します。和歌山県北部栽培漁業センター前に城ヶ崎へ出る道があります（駅から徒歩 25 分）。トイレは北部栽培漁業センター前の砂浜の北端に公衆トイレがあります。



■田倉崎

大阪湾の最南端で、南方性の生き物が豊富です。加太駅から加太の町中を抜けて淡嶋神社を目指し、そこから南へ続く海岸道路の終点が田倉崎です（駅から徒歩 30 分）。トイレは淡嶋神社の公衆トイレが最寄りです。